

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 菊陵 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、数学)

教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

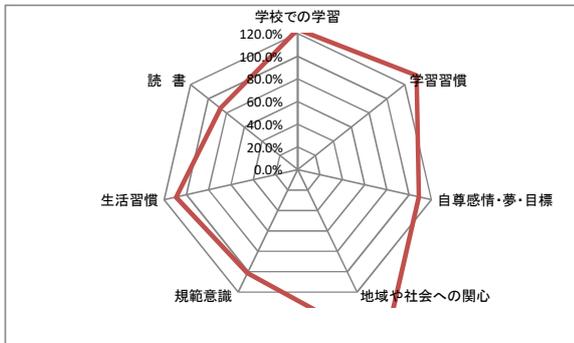
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学)の結果

本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	8.8	55
全国	9.0	65	9.1	57

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	4領域すべてにおいて、全国平均を下回っている。特に、「話すこと・聞くこと」「読むこと」の2領域は、全国平均より4ポイント以上も下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く問題(全国平均比+9.4) ○「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く問題(全国平均比+6.7)	
	努力が必要な問題	○「呼吸をのみこんだ」の意味として適切なものを選択する問題(全国平均比-15.6) ○話し合いでの司会の発言の役割について説明したのとして適切なものを選択する問題(全国平均比-10.1)	
数学	全体的な傾向や特徴など	4領域すべてにおいて、全国平均を下回っている。特に、「数と式」「図形」「資料の活用」の3領域は、全国平均より5ポイント以上も下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	○錯角が等しくなることについて、根拠となる直線FEと直線BCの関係を、記号を用いて表す問題(全国平均比+2.8) ○ $(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する問題(全国平均比+2.3)	
	努力が必要な問題	○四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する問題(全国平均比-17.6) ○反復横とびの記録の中央値を求める問題(全国平均比-10.6)	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
【よくできている項目】 ○1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をほぼ毎日使用した(全国平均比+44.0) ○各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行った(全国平均比+42.9) ○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んだ(全国平均比+40.7)
【努力が必要な項目】 ○新聞をほとんど、または全く読まない(93.2%)、ほぼ毎日読んでいる(0.0%) ○家にある本(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)が10冊以下(31.1%) ○人が困っているときは、進んで助けている(全国平均比-6.5)

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 全教科を通して活字に触れる機会を増やし、読解力を身に付けさせるとともに、話し合い活動を充実させることで、思考力・表現力を養う。
- 図書館司書やブックヘルパー、読み聞かせボランティアを活用して、読書週間や朝読書などの取組を充実させ、読書に親しむ機会を増やす。
- 自学自習ノートや各教科のコンクール等の取組を通して、基礎学力の定着を図る。また、定期的に各教科から家庭学習課題を提供する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 自学自習ノートや各教科からの家庭学習課題を通して、家庭での学習習慣を定着させるための取組を継続して行う。
- 保護者懇談会や学校だより等を通して、日頃から家庭で読書に親しむ時間の確保や新聞に触れる機会を作るよう協力を呼び掛ける。
- 道徳教育の充実を図り、困っている人を見かけたら自ら進んで助けようとする心情を育成する。